

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●川田将雅騎手がJRA通算1300勝を達成

6月9日(日)の3回阪神4日・第10レースとして行われた安芸Sではエアアルマスが1着となり、同馬に騎乗した川田将雅騎手(栗東・フリー)は、史上23人目、現役11人目となるJRA通算1300勝(9672戦目)を達成しました。

●今年度は顕彰馬の選出なし

2019年度顕彰馬選定記者投票が行われました。今回は1998年4月1日から2018年3月31日の間に競走馬登録を抹消された馬が対象で、投票者数は193名(記者1人あたり最大4頭まで投票可)。投票の結果、キタサンブラックが最多の140票を獲得したものの、選定基準である「投票者数の4分の3以上(145票以上)」には至らず、今年度は選定馬なしとなりました。

●全国ポニー競馬選手権「第11回ジョッキーベイビーズ」開催

本年も全国ポニー競馬選手権「第11回ジョッキーベイビーズ」が開催されることとなりました。今年は7月14日(日)の沖縄地区代表選考会を皮切りに、8月25日(日)の九州地区代表決定戦まで、昨年同様全国8地区で地区代表決定戦・選考会を実施(出場資格は小学4年生から中学1年生)。選出された8名は、10月13日(日)の4回東京4日・最終レース終了後に開催される決勝大会(芝・直線400m)に出場することとなります。

●藤田菜七子騎手が「ウィメンジョッキーズワールドカップ」出場

6月30日(日)、スウェーデン・ブローパーク競馬場にて開催される「ウィメンジョッキーズワールドカップ」に、藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)が出場することとなりました。同ワールドカップは女性騎手の国際的な活躍の場を広げることを目的として設立されたもので、世界各国から招待された10名の女性騎手が参加。条件の異なる5レース(出走馬はハンデキャッパーによりランク分けされ、各騎手に平等に割り当て)に騎乗し、順位に応じた獲得ポイントを競い合うシリーズとなっています。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ラインカーナが関東オークス(川崎)を逃げ切り勝ち

関東オークス(JpnII、3歳牝馬、6月12日、川崎、2100m)は、逃げた4番人気のラインカーナ(武藤雅騎手、父パイロ)が1番人気のマドラスチェックを2馬身差で抑えて重賞初制覇。大差の3着に2番人気のトーセングネット(浦和)が入り、3番人気のローザノワールは4着、エリーバラードは13着に敗れています。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドが金沢で開幕

2019ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンドは6月11日に金沢で開幕し、第1戦は岩田望来騎手(栗東)、第2戦は坂井瑠星騎手(栗東)が優勝しました。

●東海ダービーは無敗のエムエスクイーン【各地の主要3歳重賞】

東海ダービー(6月11日、名古屋、1900m)は、逃げたエムエスクイーン(牝、父バトルプラン)が8馬身差で圧勝、単勝1.5倍の支持に応えてデビュー以来の連勝を11に伸ばしました。石川ダービー(6月4日、金沢、2000m)は、3番手から3、4コーナー中間で抜け出した3番人気のロンギングルック(牝、父グランプリボス)が、単勝1.5倍で1番人気の北日本新聞杯の覇者スターキャデラックに2秒0の大差を付けて重賞初制覇を果たしています。兵庫ダービー(6月6日、園田、1870m)は、3~4番手から4コーナー手前で先頭に立った3番人気の兵庫チャンピオンシップ3着馬バンローズキングス(牡、父アサクサキングス)が3馬身半差で完勝。単勝1.4倍で断然人気の菊水賞馬ジンギは4着でした。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1ベルモントS~サーウィンストンがG1初制覇

6月8日にアメリカ・ニューヨーク州のベルモントパーク競馬場で行われたG1ベルモントS(3歳、ダート2400m)は、後方3番手追走から最内を通過して徐々にポジションを上げ、最後の直線で外に持ち出されるとそこからグンと伸びたサーウィンストン(牡、父オーサムアゲイン)が優勝しました。1馬身差の2着にG1ケンタッキーダービー3着馬タシトウス。日本から参戦したマスターフェンサーは最後方追走から直線で外から差を詰めたが5着に終わりました。勝ったサーウィンストンは2歳9月にカナダで迎えたデビュー3戦目(オールウェザー1660m)で初勝利をあげ、12月にはカナダのディスプレイS(L、オールウェザー1700m)に優勝。今年に入ってからダート路線を歩みましたが、G3ウィザーズS4着、G2タンパベイダービー5着、G2ブルーグラスS7着と3連敗してG1ケンタッキーダービー出走を断念。続く前走5月11日のG3ピーターパンSも道中最後方から直線で鋭く伸びたものの、1馬身1/4差の2着に終わっていました。鞍上のJ.ロザリオ騎手は2014年のトーナリストに続く2勝目。管理するM.キャシー調教師は初制覇で、ウォーオブウィルで制したG1ブリークネスSに続いての米三冠レース連勝としました。